

## 学生に対するインターンシップ実施状況調査（平成26年度）結果の概要

平成26年度に実施した『学生に対するインターンシップ実施状況調査』の結果について、次の5つの観点から、その概要を取りまとめた。

1. インターンシップ参加回数
2. 参加日数
3. 申込窓口
4. 役に立ったこと
5. 交通費・報酬

この5つの観点からの全体の傾向に加えて、性別、学校種（大学・短期大学・大学院）、学年、課程（昼間部・夜間部）、専門分野（文系・理系・その他）<sup>(注1)</sup>といった属性別に見た結果についても併せて取りまとめた。原則として、属性別に見て数値に5.0ポイント以上の差が認められたものを優先的に取り上げるが、それ以下の差であっても触れることがある。

なお、結果の概要を報告するに当たっての前提条件となる、集計した有効回答の件数はそれぞれ次のとおりである（表1）。以下ではこれに基づいて割合を算出している。<sup>(注2)</sup>

表1 有効回答件数の一覧

	学校数	計	男	女
大 学	588校	20,319人	10,523人	9,796人
短期大学	330校	5,232人	733人	4,499人
大 学 院	573校	16,955人	11,703人	5,252人
総 計	1,014校	42,506人	22,959人	19,547人

\* 併設している学校があるため、学校数の総計は合計と一致しない。

（注1）文系・理系・その他については、「学科（専攻）の系統」に対する回答を文部科学省私学部私学助成課で実施した「私立大学入学者に係る初年度学生納付金平均額調査」における分類を参考に次のように区分して集計した。以下同じ。

文系：文・外国語・国際・文化系、法・政・経・商・社系、教育・教員養成系、福祉系

理系：理・工系、農系、薬系、医・歯系

その他：看護・保健系、家政・生活系、芸術系、スポーツ系、その他

（注2）本調査結果の集計各表は端数処理（四捨五入）後の数値を使用しており、内訳の合計値と合計欄の値が一致しないことがある。

## 1. インターンシップ参加回数

インターンシップ参加回数に関する実態として、およそ8人に1人が1回以上のインターンシップを経験しており（12.1%）、大学では3年もしくは4年、短期大学では2年もしくは3年、大学院では修士1年、2年の時期で経験者の割合が高くなっている。就職活動が視野に入ってきたときに、インターンシップを経験しているものと推察される。

まず全体の傾向としては、インターンシップに参加した経験がある者の割合は今回の調査の有効回答全体の12.1%であった（表2）。そのうち、多くの者はインターンシップの経験が1回のみであり、複数回の経験があるのは全体の3.6%（経験者のうちのおよそ30%）にとどまっている。

次に、学校種別と性別で分けると（表3）、大学・短期大学では女性が、大学院では男性が、インターンシップに参加する傾向が見て取れる（大学では女性が+4.4ポイント、短期大学では+6.5ポイント、大学院では男性が+3.8ポイント、経験者割合が高い）。

表2 インターンシップ参加回数の全体の分布（性別）

	性別	なし	1回	2回	3回以上	経験者割合
全体	男	88.4%	8.3%	1.6%	1.6%	11.6%
	女	87.2%	8.9%	1.9%	1.9%	12.8%
	計	87.9%	8.6%	1.8%	1.8%	12.1%

表3 インターンシップ参加回数の学校種別の分布（性別）

学校種	性別	なし	1回	2回	3回以上	経験者割合
大学	男	90.7%	6.8%	1.1%	1.3%	9.3%
	女	86.3%	9.5%	2.2%	2.0%	13.7%
	計	88.6%	8.1%	1.7%	1.6%	11.4%
短期大学	男	92.8%	4.6%	1.0%	1.6%	7.2%
	女	86.3%	10.2%	1.3%	2.2%	13.7%
	計	87.2%	9.4%	1.3%	2.1%	12.8%
大学院	男	86.0%	9.9%	2.2%	1.9%	14.0%
	女	89.8%	6.8%	1.8%	1.7%	10.2%
	計	87.2%	8.9%	2.0%	1.8%	12.8%

学校種別と学年別とを組み合わせると（表4）、大学では3年もしくは4年、短期大学では2年もしくは3年、大学院では修士1年、2年の時期で経験者の割合が高くなっている。経験者の割合は、大学3年では20.7%、大学4年で19.6%となっている。短期大学2年では

16.4%、短期大学3年では15.6%となっている。大学院修士1年では18.6%、修士2年では18.5%、専門職2年では17.1%、専門職3年では37.6%である。いずれも、就職活動が近くなってきた時期、もしくは、就職活動を開始した後と考えられる。

表4 インターンシップ参加回数の学校種別の分布（学年別）

学校種	学年	なし	1回	2回	3回以上	経験者割合
大学	1年	98.7%	1.0%	0.2%	0.1%	1.3%
	2年	95.7%	3.2%	0.7%	0.5%	4.3%
	3年	79.3%	15.0%	3.0%	2.7%	20.7%
	4年	80.4%	13.7%	2.8%	3.0%	19.6%
	5年	88.5%	3.3%	2.2%	6.0%	11.5%
	6年	90.2%	5.4%	0.5%	3.8%	9.8%
	計	88.6%	8.1%	1.7%	1.6%	11.4%
短期大学	1年	90.7%	7.6%	1.1%	0.6%	9.3%
	2年	83.6%	11.7%	1.3%	3.4%	16.4%
	3年	84.4%	5.0%	3.4%	7.3%	15.6%
	計	87.2%	9.4%	1.3%	2.1%	12.8%
大学院	修士1年	81.4%	12.5%	3.2%	2.9%	18.6%
	修士2年	81.5%	12.8%	3.3%	2.4%	18.5%
	博士1年	94.0%	4.2%	0.9%	0.9%	6.0%
	博士2年	94.0%	4.6%	0.7%	0.7%	6.0%
	博士3年	94.2%	4.1%	0.9%	0.8%	5.8%
	博士4年	99.1%	0.2%	0.4%	0.2%	0.9%
	専門職1年	92.2%	5.0%	1.5%	1.3%	7.8%
	専門職2年	82.9%	11.8%	2.7%	2.7%	17.1%
	専門職3年	62.4%	29.9%	3.1%	4.6%	37.6%
	計	87.2%	8.9%	2.0%	1.8%	12.8%

最後に、性別、かつ専門分野別もしくは課程別に実態を確認する。

性別と専門分野別を組み合わせると（表5）、「文系」及び「その他」においては、男性の方が女性に比べてインターンシップの経験者の割合が若干低くなっている（「文系」では男性10.2%、女性13.4%、「その他」では男性9.2%、女性11.2%）。

表5 インターンシップ参加回数の専門分野別の分布（男女別）

文系・理系	性別	なし	1回	2回	3回以上	経験者割合
文系	男	89.8%	6.9%	1.4%	1.8%	10.2%
	女	86.6%	9.4%	1.8%	2.2%	13.4%
	計	88.1%	8.3%	1.7%	2.0%	11.9%
理系	男	87.0%	9.7%	1.8%	1.5%	13.0%
	女	86.4%	9.6%	2.2%	1.8%	13.6%
	計	86.9%	9.7%	1.9%	1.6%	13.1%
その他	男	90.8%	6.0%	1.5%	1.6%	9.2%
	女	88.8%	7.7%	1.8%	1.6%	11.2%
	計	89.4%	7.3%	1.7%	1.6%	10.6%

一方、性別と課程別を組み合わせると（表6）、昼間部の学生の方が夜間部の学生よりもインターンシップに参加した経験を有しており（参加経験なしについて、大学（昼間）88.3%、（夜間）92.6%、短期大学（昼間）86.0%、（夜間）96.6%）、かつ、女性の方が男性よりもインターンシップ参加の経験がある（参加経験なしについて、大学（昼間）女性86.0%、男性90.5%、大学（夜間）女性90.8%、男性93.4%、短期大学（昼間）女性85.6%、男性90.1%、短期大学（夜間）女性95.8%、男性97.7%）。

表6 インターンシップ参加回数の学校種別・課程別の分布（男女別）

学校種	性別	なし	1回	2回	3回以上	経験者割合
大学(昼間)	男	90.5%	7.1%	1.1%	1.3%	9.5%
	女	86.0%	9.8%	2.3%	1.9%	14.0%
	計	88.3%	8.4%	1.7%	1.6%	11.7%
大学(夜間)	男	93.4%	4.3%	1.0%	1.3%	6.6%
	女	90.8%	5.0%	1.9%	2.3%	9.2%
	計	92.6%	4.6%	1.3%	1.6%	7.4%
短期大学(昼間)	男	90.1%	6.3%	1.3%	2.3%	9.9%
	女	85.6%	10.8%	1.4%	2.3%	14.4%
	計	86.0%	10.3%	1.4%	2.3%	14.0%
短期大学(夜間)	男	97.7%	1.6%	0.4%	0.4%	2.3%
	女	95.8%	3.0%	0.3%	0.9%	4.2%
	計	96.6%	2.4%	0.3%	0.7%	3.4%

## 2. 参加日数

参加日数に関しては、全体では、単位認定ありのケースでは「10-19 日」(38.4%)、単位認定なしのケースでは「4 日以内」(43.3%) が最も多くなっているが、学校種別にみると、単位認定ありのケースでは、大学及び短期大学では「5-9 日」が最多であり、違いが見られる。

参加日数については、単位認定の有無で分けて傾向を示す。参加日数に関する全体の傾向として、単位認定ありのケースでは「10-19 日」(38.4%)、単位認定なしのケースでは「4 日以内」(43.3%) が最も多くなっている (表 7)。

これを性別に見てみると、単位認定ありのケース、なしのケース双方で、男性の方が女性よりも比較的長い日数、インターンシップに参加する傾向が見て取れる (単位認定あり「10-19 日」: +4.9 ポイント、単位認定なし「10-19 日」: +7.7 ポイント、表 7)。

表 7 インターンシップ参加日数の全体の分布 (男女別)

	性別	単位認定あり					単位認定なし				
		4日以内	5~9日	10~19日	20~59日	60日以上	4日以内	5~9日	10~19日	20~59日	60日以上
全体	男	8.3%	29.2%	40.8%	15.8%	6.0%	35.4%	30.7%	19.1%	8.9%	6.0%
	女	12.8%	36.8%	35.9%	11.9%	2.5%	51.8%	27.3%	11.4%	4.5%	4.9%
	計	10.5%	32.9%	38.4%	13.9%	4.3%	43.3%	29.1%	15.4%	6.8%	5.5%

次に、学校種別に見ると (表 8)、単位認定ありのケースでは、最も多かったのが大学と短期大学では「5-9 日」(それぞれ 40.2%、38.7%)、大学院では「10-19 日」(43.9%) であった (いずれも計の値)。単位認定なしのケースでは、どの学校種でも「4 日以内」が最多となっている (大学: 51.4%、短期大学: 60.5%、大学院: 30.9%)。更に性別を組み合わせると、学校種ごとに異なる特徴が見出せる。大学の場合、単位認定なしのケースにおいて男性の方が長い日数、インターンシップに参加する傾向がある (「4 日以内」、つまり最も少ない日数に関して、男性の選択割合は女性に比べて-9.6 ポイント)。短期大学の場合、単位認定ありのケースで男性の方が長く (「20-59 日」について+8.0 ポイント)、インターンシップに参加する傾向が見出せる。大学院の場合、単位認定なしのケースで男性の方が長く (「4 日以内」について-7.6 ポイント)、インターンシップに参加している (表 8)。

表 8 インターンシップ参加日数の学校種別の分布（男女別）

学校種	性別	単位認定あり					単位認定なし				
		4日以内	5～9日	10～19日	20～59日	60日以上	4日以内	5～9日	10～19日	20～59日	60日以上
大学	男	10.2%	41.2%	36.4%	10.2%	2.0%	45.7%	31.7%	12.7%	5.6%	4.2%
	女	12.2%	39.5%	34.1%	12.5%	1.7%	55.3%	25.4%	10.2%	4.6%	4.6%
	計	11.3%	40.2%	35.1%	11.5%	1.9%	51.4%	27.9%	11.2%	5.0%	4.4%
短期大学	男	20.6%	32.4%	29.4%	14.7%	2.9%	69.2%	26.9%	3.8%	0.0%	0.0%
	女	18.7%	39.3%	33.4%	6.7%	1.9%	59.8%	32.2%	6.8%	0.6%	0.6%
	計	18.9%	38.7%	33.1%	7.4%	2.0%	60.5%	31.8%	6.5%	0.6%	0.6%
大学院	男	6.6%	21.6%	44.0%	19.3%	8.6%	29.0%	30.2%	22.9%	10.9%	7.0%
	女	5.8%	26.7%	43.8%	18.2%	5.4%	36.6%	27.6%	18.3%	7.9%	9.6%
	計	6.4%	22.9%	43.9%	19.0%	7.8%	30.9%	29.5%	21.7%	10.2%	7.7%

次に専門分野別にみると、「理系」の参加日数がほかの分野よりも比較的長くなっている（単位認定ありのケースでは「20-59日」の回答割合が「文系」に比べて+5.6ポイント、「その他」に比べて+6.1ポイント高い。単位認定なしの場合は「10-19日」の回答割合が「文系」に比べて+10.4ポイント、「その他」に比べて+13.6ポイント高い。「文系」と「その他」の間で比較すると、「文系」の方が参加日数が長くなる傾向がある。具体的には、単位認定ありのケースでは「10-19日」の回答割合が+5.7ポイント高く、単位認定なしの場合は「5-9日」の回答割合が+15.5ポイント高くなっており、若干の違いもみられる。

表 9 インターンシップ参加日数の専門分野別の分布（男女別）

文系・理系	性別	単位認定あり					単位認定なし				
		4日以内	5～9日	10～19日	20～59日	60日以上	4日以内	5～9日	10～19日	20～59日	60日以上
文系	男	9.7%	33.2%	45.5%	9.2%	2.4%	38.8%	36.3%	12.5%	7.5%	4.8%
	女	11.8%	37.8%	34.3%	13.3%	2.8%	44.3%	32.9%	10.8%	5.5%	6.4%
	計	11.0%	36.0%	38.6%	11.8%	2.6%	42.1%	34.3%	11.5%	6.3%	5.8%
理系	男	6.5%	26.1%	39.7%	19.5%	8.2%	32.6%	28.9%	23.2%	9.6%	5.8%
	女	10.3%	33.9%	42.6%	10.7%	2.5%	48.7%	26.0%	17.9%	3.0%	4.5%
	計	7.4%	28.0%	40.4%	17.4%	6.8%	36.6%	28.1%	21.9%	7.9%	5.5%
その他	男	15.3%	34.2%	28.8%	16.2%	5.4%	44.2%	21.2%	12.4%	9.7%	12.4%
	女	17.2%	36.8%	34.5%	9.5%	2.0%	68.1%	18.1%	7.1%	4.0%	2.6%
	計	16.7%	36.1%	32.9%	11.3%	2.9%	63.0%	18.8%	8.3%	5.3%	4.7%

最後に、課程別に見ると（表 10）、夜間部の学生の方が比較的長期のインターンシップに参加する傾向がある。例えば、大学における単位認定ありのケースでは、昼間部で最も多

いのは「5-9日」(41.3%)である一方で、夜間部では「10-19日」(35.4%)となっている。また、夜間部では「20-59日」にも多く参加している。(33.3%(参考:昼間部「20-59日」:10.5%))。短期大学も同様の傾向を示しており、「4日以内」、すなわち最も短い期間を選ぶ割合は単位認定ありのケースで夜間部の学生53.8%、昼間部の学生17.7%、単位認定なしのケースで夜間部の学生80.0%、昼間部の学生59.9%と大きな差がある。

表10 インターンシップ参加日数の学校種別・課程別の分布(男女別)

学校種	性別	単位認定あり					単位認定なし				
		4日以内	5~9日	10~19日	20~59日	60日以上	4日以内	5~9日	10~19日	20~59日	60日以上
大学(昼間)	男	10.2%	42.7%	35.9%	9.3%	1.9%	45.7%	31.8%	13.1%	5.1%	4.2%
	女	12.2%	40.2%	34.5%	11.4%	1.6%	55.1%	25.7%	10.2%	4.4%	4.6%
	計	11.3%	41.3%	35.1%	10.5%	1.8%	51.4%	28.1%	11.4%	4.7%	4.5%
大学(夜間)	男	10.3%	17.2%	44.8%	24.1%	3.4%	45.2%	31.0%	7.1%	11.9%	4.8%
	女	10.5%	15.8%	21.1%	47.4%	5.3%	59.4%	18.8%	9.4%	9.4%	3.1%
	計	10.4%	16.7%	35.4%	33.3%	4.2%	51.4%	25.7%	8.1%	10.8%	4.1%
短期大学(昼間)	男	15.6%	34.4%	31.3%	15.6%	3.1%	71.4%	23.8%	4.8%	0.0%	0.0%
	女	17.9%	39.9%	33.6%	6.6%	1.9%	59.2%	32.7%	6.9%	0.7%	0.7%
	計	17.7%	39.5%	33.4%	7.3%	2.0%	59.9%	32.1%	6.7%	0.6%	0.6%
短期大学(夜間)	男	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	60.0%	40.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	女	45.5%	18.2%	27.3%	9.1%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	計	53.8%	15.4%	23.1%	7.7%	0.0%	80.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%

### 3. 申込窓口

インターンシップの申し込みに関しては、過半数が「大学等を通じて」行っている。文系、その中でも特に女性にその傾向が見られるが、理系では30%弱の学生が「インターンシップ紹介サイト」を利用して体験先を見つけており、分野による違いも見受けられる。

インターンシップの申込窓口について、全体の傾向(表11)としては「大学等を通じて」が56.8%と過半数を占める。「インターンシップ紹介サイト」や「企業に直接」といった手段で体験先を見付けるケースは40%に満たない(それぞれ21.2%と16.8%)。この傾向を性別に見ると、女性の方が男性よりも「大学等を通じて」を選び(+9.7ポイント)、男性の方が「インターンシップ紹介サイト」(+4.9ポイント)や「企業に直接」(+4.0ポイント)を選んでいる。

表 11 申込窓口の全体の分布（男女別）

	性別	大学等を通じて	インターンシップ 紹介サイト	企業に直接	その他
全体	男	52.2%	23.6%	18.7%	5.6%
	女	61.9%	18.7%	14.7%	4.7%
	計	56.8%	21.2%	16.8%	5.2%

更に学校種別の傾向を確認すると（表 12）、短期大学では「大学等を通じて」が 80%を超えており、学校経由のインターンシップが主流となっている。一方で、大学院では「大学等を通じて」が 50%に満たず、「インターンシップ紹介サイト」や「企業に直接」といった手段で体験先を見付ける者の割合が、全体の傾向に比べて、高くなっている等、違いが見られる。なお、各学校種で性別に数値を確認しても、大きな差は認められない。

表 12 申込窓口の学校種別の分布（男女別）

学校種	性別	大学等を通じて	インターンシップ 紹介サイト	企業に直接	その他
大学	男	58.6%	22.6%	12.2%	6.7%
	女	57.4%	23.0%	14.0%	5.6%
	計	57.9%	22.8%	13.2%	6.0%
短期大学	男	83.0%	5.7%	5.7%	5.7%
	女	84.5%	3.3%	9.6%	2.5%
	計	84.4%	3.5%	9.3%	2.8%
大学院	男	47.5%	24.7%	22.9%	4.9%
	女	48.3%	24.7%	22.1%	5.0%
	計	47.7%	24.7%	22.7%	4.9%

専門分野別では（表 13）、文系で「大学等を通じて」体験する割合が他の分野に比べて高くなっている（文系計 65.5%、理系計 47.1%、その他計 58.9%）。文系の中でも、女性の方が男性よりも「大学等を通じて」インターンシップを体験する割合が高い（+8.6 ポイント）。

表 13 申込窓口の専門分野別の分布（男女別）

文系・理系	性別	大学等を通じて	インターンシップ 紹介サイト	企業に直接	その他
文系	男	60.3%	18.7%	13.1%	7.9%
	女	68.9%	16.4%	9.7%	5.0%
	計	65.5%	17.3%	11.1%	6.2%
理系	男	46.7%	27.2%	21.8%	4.3%
	女	48.2%	29.8%	18.2%	3.8%
	計	47.1%	27.8%	20.9%	4.1%
その他	男	59.9%	16.0%	18.4%	5.7%
	女	58.7%	14.4%	21.9%	5.0%
	計	58.9%	14.8%	21.1%	5.2%

課程別では（表 14）、大学の昼間部は表 11 で確認した全体の傾向とほぼ似た傾向であるが、夜間部では、女性の方が男性に比べて「大学等を通じて」インターンシップに参加する割合が低く（女性 44.7%、男性 52.7%）、「インターンシップ紹介サイト」等を通じて体験先を見つける傾向が見て取れる。短期大学については、女性は昼間部、夜間部ともに「大学等を通じて」体験を申し込む割合が高いが、夜間部の男性においては極めて低い割合となっている（注3）。

（注3）ただし、本調査における男性の短期大学生数が 700 人程度であり、更に課程別に分けて割合を算出しているため、数値が高く、もしくは、低く出やすくなることに留意する必要がある。

表 14 申込窓口の学校種別・課程別の分布（男女別）

学校種	性別	大学等を通じて	インターンシップ 紹介サイト	企業に直接	その他
大学(昼間)	男	59.0%	22.0%	12.4%	6.6%
	女	57.9%	22.6%	14.2%	5.3%
	計	58.3%	22.4%	13.5%	5.8%
大学(夜間)	男	52.7%	29.7%	9.5%	8.1%
	女	44.7%	34.0%	6.4%	14.9%
	計	49.6%	31.4%	8.3%	10.7%
短期大学 (昼間)	男	89.4%	2.1%	6.4%	2.1%
	女	84.8%	3.2%	9.7%	2.3%
	計	85.2%	3.1%	9.4%	2.2%
短期大学 (夜間)	男	33.3%	33.3%	0.0%	33.3%
	女	71.4%	7.1%	7.1%	14.3%
	計	60.0%	15.0%	5.0%	20.0%

#### 4. 役に立ったこと

インターンシップ参加経験は「視野が広がった」、「社会で働くイメージが明確になった」、「仕事に取り組む姿勢を学んだ」といった成果につながっている。学校種別や課程によって実感されている成果にも違いがあり、短期大学生からは、単位認定があるケースで「厳しさや責任を感じた」が選ばれる割合が高い傾向が見受けられる。

インターンシップに参加して役に立ったこと（複数回答可）については、全体の傾向として、「1 視野が広がった」と回答する割合が最も高かった（18.3%、表 15）。次に「2 社会で働くイメージが明確になった」（13.8%）、「4 仕事に取り組む姿勢を学んだ」（12.3%）と続く。在学中に、企業等において自らの専攻やキャリアに関連した就業体験を行うというインターンシップの目的に沿った回答傾向が見て取れる。なお、男女で数値に違いが見られる選択肢は認められなかった。

性別に数値を見ると、全体の傾向と類似した結果が確認される（表 16）。ただし、若干の違いとして、「3 厳しさや責任を感じた」については短期大学で選ばれる傾向にあること（大学院に比して+7.4 ポイント、いずれも計）、「7 大学の専攻分野と仕事の関係について理解できた」は大学院で比較的選ばれる傾向にあること（大学に比して+4.1 ポイント、いずれも計）が挙げられる。

単位認定別に見ても、全体の傾向とほぼ同じであり、かつ学校種の違いや単位認定の有無による数値の大きな違いは認められなかった（表 17）。ただし、短期大学における単位認

定ありのケースで「3 厳しさを責任を感じた」が最も選ばれる選択肢になっているなど、若干の違いは見受けられる。

性別によって、選択される割合に大きな違いが出てくる選択肢は見受けられなかった（表 18）。ただし、「その他」の分野に限っては、男性の方が女性よりも「9 人脈やネットワークが広がった」を選ぶ割合が若干高い（+4.2 ポイント）。

単位認定別に見ると、「その他」の分野で特徴が見られ、単位認定があるケースで、ないケースよりも「3 厳しさを責任を感じた」と答える割合が高い傾向がある（+5.6 ポイント）。また、大きな違いとまでは言えないが、単位認定がないケースでは、「理系」が「その他」よりも「9 人脈やネットワークが広がった」を選ぶ割合が若干高い（+4.7 ポイント）など、違いも見受けられる（表 19）。

表 15 インターンシップ参加が役に立ったことの全体の分布（男女別）

	性別	1 視野が広がった	2 社会で働くイメージが明確になった	3 厳しさを責任を感じた	4 仕事に取り組む姿勢を学んだ	5 自分の興味・適性がわかった
全体	男	18.5%	13.6%	10.8%	11.9%	9.4%
	女	18.1%	14.0%	12.8%	12.8%	10.8%
	計	18.3%	13.8%	11.8%	12.3%	10.1%
	性別	6 将来就きたい業種・企業について理解できた	7 大学の専攻分野と仕事の関係について理解できた	8 大学での学びの重要性を再認識した	9 人脈やネットワークが広がった	10 その他
全体	男	11.9%	7.2%	6.1%	9.4%	1.3%
	女	11.7%	5.6%	6.2%	6.7%	1.2%
	計	11.8%	6.4%	6.1%	8.1%	1.3%

表 16 インターンシップ参加が役に立ったことの学校種別の分布（男女別）

学校種別	性別	1 視野が広がった	2 社会で働くイメージが明確になった	3 厳しさや責任を感じた	4 仕事に取り組む姿勢を学んだ	5 自分の興味・適性がわかった
大学	男	19.3%	13.7%	13.1%	13.4%	9.6%
	女	19.0%	14.2%	12.9%	12.7%	11.6%
	計	19.1%	14.0%	13.0%	13.0%	10.8%
短期大学	男	19.5%	10.5%	17.4%	13.7%	10.5%
	女	16.1%	14.1%	16.4%	15.0%	10.8%
	計	16.4%	13.8%	16.5%	14.9%	10.8%
大学院	男	18.1%	13.6%	9.3%	11.0%	9.2%
	女	18.2%	13.1%	8.5%	10.6%	9.0%
	計	18.1%	13.5%	9.1%	10.9%	9.2%
学校種別	性別	6 将来就きたい業種・企業について理解できた	7 大学の専攻分野と仕事の関係について理解できた	8 大学での学びの重要性を再認識した	9 人脈やネットワークが広がった	10 その他
大学	男	10.9%	4.8%	5.5%	8.1%	1.5%
	女	11.7%	4.5%	5.5%	6.4%	1.4%
	計	11.4%	4.6%	5.5%	7.1%	1.5%
短期大学	男	10.0%	4.7%	6.3%	5.3%	2.1%
	女	10.7%	5.0%	7.3%	3.6%	1.0%
	計	10.6%	5.0%	7.2%	3.8%	1.1%
大学院	男	12.5%	8.6%	6.4%	10.2%	1.1%
	女	12.9%	8.9%	6.5%	11.2%	1.1%
	計	12.6%	8.7%	6.4%	10.4%	1.1%

表 17 インターンシップ参加が役に立ったことの学校種別の分布（単位認定別）

学校種別	単位認定	1 視野が広がった	2 社会で働くイメージが明確になった	3 厳しさや責任を感じた	4 仕事に取り組む姿勢を学んだ	5 自分の興味・適性がわかった
大学	あり	19.2%	13.6%	14.6%	13.7%	10.6%
	なし	18.9%	14.3%	11.7%	12.3%	10.9%
短期大学	あり	15.6%	13.5%	18.3%	16.0%	10.3%
	なし	17.0%	13.8%	14.1%	13.0%	11.5%
大学院	あり	17.4%	13.7%	10.4%	11.6%	7.8%
	なし	18.5%	13.3%	8.0%	10.3%	10.3%
学校種別	単位認定	6 将来就きたい業種・企業について理解できた	7 大学の専攻分野と仕事の関係について理解できた	8 大学での学びの重要性を再認識した	9 人脈やネットワークが広がった	10 その他
大学	あり	9.6%	5.2%	6.3%	5.8%	1.2%
	なし	12.9%	4.2%	5.0%	8.3%	1.6%
短期大学	あり	10.0%	5.1%	6.6%	3.9%	0.7%
	なし	11.5%	5.4%	8.5%	3.8%	1.5%
大学院	あり	11.1%	10.2%	7.5%	9.6%	0.8%
	なし	13.8%	7.3%	5.6%	11.6%	1.3%

表 18 インターンシップ参加が役に立ったことの専門分野別の分布（男女別）

文系・理系	性別	1 視野が広がった	2 社会で働くイメージが明確になった	3 厳しさや責任を感じた	4 仕事に取り組む姿勢を学んだ	5 自分の興味・適性がわかった
文系	男	17.9%	12.6%	11.6%	12.2%	9.0%
	女	18.6%	13.7%	13.8%	13.4%	10.9%
	計	18.4%	13.3%	12.9%	12.9%	10.1%
理系	男	18.7%	14.4%	10.1%	11.7%	9.7%
	女	18.2%	13.7%	9.2%	11.4%	11.0%
	計	18.6%	14.2%	9.9%	11.6%	10.0%
その他	男	19.2%	11.7%	12.9%	12.2%	8.8%
	女	16.9%	14.7%	13.7%	12.8%	10.6%
	計	17.5%	13.9%	13.5%	12.7%	10.2%
文系・理系	性別	6 将来就きたい業種・企業について理解できた	7 大学の専攻分野と仕事の関係について理解できた	8 大学での学びの重要性を再認識した	9 人脈やネットワークが広がった	10 その他
文系	男	12.3%	6.8%	6.6%	9.2%	1.9%
	女	11.2%	4.5%	5.8%	7.0%	1.1%
	計	11.6%	5.4%	6.1%	7.9%	1.4%
理系	男	11.8%	7.5%	5.6%	9.6%	0.9%
	女	12.7%	7.9%	6.2%	8.6%	1.1%
	計	12.0%	7.6%	5.7%	9.3%	0.9%
その他	男	10.9%	6.4%	7.6%	8.8%	1.6%
	女	11.8%	6.1%	7.0%	4.6%	1.7%
	計	11.6%	6.2%	7.1%	5.6%	1.7%

表 19 インターンシップ参加が役に立ったことの専門分野別の分布（単位認定別）

文系・理系	単位認定	1 視野が広がった	2 社会で働くイメージが明確になった	3 厳しさや責任を感じた	4 仕事に取り組む姿勢を学んだ	5 自分の興味・適性がわかった
文系	あり	17.9%	12.9%	14.1%	13.6%	9.1%
	なし	18.6%	13.5%	11.5%	11.8%	11.3%
理系	あり	18.2%	14.7%	11.2%	12.5%	9.5%
	なし	18.8%	13.9%	8.8%	11.0%	10.4%
その他	あり	17.0%	13.1%	16.8%	13.9%	9.8%
	なし	17.6%	14.3%	11.2%	11.7%	10.3%
文系・理系	単位認定	6 将来就きたい業種・企業について理解できた	7 大学の専攻分野と仕事の関係について理解できた	8 大学での学びの重要性を再認識した	9 人脈やネットワークが広がった	10 その他
文系	あり	10.6%	6.4%	7.3%	7.1%	1.0%
	なし	12.9%	4.5%	5.3%	9.0%	1.6%
理系	あり	10.3%	8.9%	6.1%	7.8%	0.8%
	なし	13.2%	6.7%	5.3%	10.8%	1.1%
その他	あり	9.2%	6.3%	7.3%	5.4%	1.2%
	なし	13.4%	6.2%	7.2%	6.1%	2.1%

表 20 インターンシップ参加が役に立ったことの学校種別・課程別の分布（男女別）

学校種別	性別	1 視野が広がった	2 社会で働くイメージが明確になった	3 厳しさや責任を感じた	4 仕事に取り組む姿勢を学んだ	5 自分の興味・適性がわかった
大学 (昼間)	男	19.3%	13.8%	13.1%	13.5%	9.5%
	女	19.1%	14.1%	12.9%	12.7%	11.8%
	計	19.2%	14.0%	13.0%	13.0%	10.9%
大学 (夜間)	男	19.0%	12.2%	12.7%	12.2%	10.5%
	女	17.0%	17.7%	14.3%	10.9%	8.2%
	計	18.2%	14.3%	13.3%	11.7%	9.6%
短期大学 (昼間)	男	19.3%	11.1%	16.4%	13.5%	11.1%
	女	16.1%	14.0%	16.3%	15.0%	11.0%
	計	16.3%	13.8%	16.3%	14.9%	11.0%
短期大学 (夜間)	男	21.1%	5.3%	26.3%	15.8%	5.3%
	女	17.9%	17.9%	23.1%	15.4%	2.6%
	計	19.0%	13.8%	24.1%	15.5%	3.4%
学校種別	性別	6 将来就きたい業種・企業について理解できた	7 大学の専攻分野と仕事の関係について理解できた	8 大学での学びの重要性を再認識した	9 人脈やネットワークが広がった	10 その他
大学 (昼間)	男	10.9%	4.9%	5.4%	8.0%	1.4%
	女	11.6%	4.5%	5.6%	6.2%	1.4%
	計	11.3%	4.7%	5.5%	6.9%	1.4%
大学 (夜間)	男	11.0%	3.4%	6.8%	8.9%	3.4%
	女	14.3%	2.7%	3.4%	10.2%	1.4%
	計	12.2%	3.1%	5.5%	9.4%	2.6%
短期大学 (昼間)	男	10.5%	5.3%	6.4%	4.7%	1.8%
	女	10.7%	5.0%	7.3%	3.7%	1.1%
	計	10.7%	5.0%	7.3%	3.7%	1.1%
短期大学 (夜間)	男	5.3%	0.0%	5.3%	10.5%	5.3%
	女	10.3%	5.1%	5.1%	2.6%	0.0%
	計	8.6%	3.4%	5.2%	5.2%	1.7%

## 5. 交通費・報酬

交通費・報酬に関しては、男性の方が女性よりも交通費・報酬等の支給を受けている。短期大学よりも大学、大学よりも大学院の学生の方が交通費・報酬等の支給を受けている。「理系」の学生の方が「文系」や「その他」の学生よりも交通費・報酬等の支給を受けている、といった傾向が見られる。

交通費・報酬の支給について全体の傾向を確認すると、59.4%が「なし」と答えており、何かしらの支給を受けている者は40%程度である（表21）。更に性別の傾向を確認すると、男性の過半数が何らかの支給を受けている一方で、女性は30%程度にとどまっており、大きな差が認められる。

次に、学校種別、かつ、性別もしくは単位認定別に実態を確認する。

学校種別に見ると、支給を受けていないと回答した割合が、短期大学、大学、大学院の順で減っていく（表22、いずれも計）。報酬のみを受け取る割合は大きくは変わらないが、交通費のみ、もしくは交通費及び報酬の双方を支給される割合は、短期大学、大学、大学院の順で増えていく（表22、いずれも計）。これに性別を組み合わせると、本節冒頭で述べた、女性が男性に比して支給を受けていない傾向が改めて見受けられる。更に単位認定別に見ると、どの学校種に関しても、単位認定があるケースでは、ないケースに比べて、交通費・報酬を支給されていないと答える割合が比較的高くなっている。（大学：+11.2ポイント、短期大学：+4.9ポイント、大学院：+17.8ポイント）（表23）。

次に、専門分野別、かつ性別もしくは単位認定別に実態を確認する。

専門分野別に見ると、「理系」は「文系」や「その他」に比べて、支給なしと答える割合が極めて低い（対文系：-29.9ポイント、対その他：-29.4ポイント）。その分、交通費のみ、もしくは交通費と報酬の双方を支給される割合はほかに比べて高くなっている（表24、いずれも計）。これに性別を組み合わせると、男性の方が女性に比べて何らかの支給を受けている傾向が改めて確認される（表24）。ただし、受けているものについては若干の違いがあり、「文系」では交通費のみ（+5.6ポイント）、「理系」では交通費のみ（+9.4ポイント）、及び、交通費と報酬の双方（+6.0ポイント）、「その他」では交通費と報酬の双方（+7.2ポイント）となっている。更に、単位認定別に見ると、「文系」では単位認定なしの方が交通費と報酬の双方（+6.7ポイント）を受け取る傾向が、「理系」と「その他」では単位認定なしの方が交通費のみを受け取る傾向が確認される（それぞれ+11.9ポイント、+10.5ポイント）。

最後に、学校種別及び課程別の違いを確認すると、大学の昼間部と夜間部では傾向の違いは認められなかったが、短期大学の昼間部と夜間部では大きな違いが認められた（表25）。短期大学昼間部の方が夜間部に比べて何も支給を受けていないと答える割合が高く（+24.5ポイント）、交通費のみ、もしくは交通費と報酬の双方を支給される割合が低くなっている（それぞれ-11.4ポイントと-15.9ポイント）。

表 21 交通費・報酬の支給に関する全体の分布（男女別）

	性別	なし	交通費	報酬	両方
全体	男	48.9%	32.5%	4.3%	14.2%
	女	70.8%	18.9%	3.2%	7.2%
	計	59.4%	26.0%	3.8%	10.8%

表 22 交通費・報酬の支給に関する学校種別の分布（男女別）

学校種別	性別	なし	交通費	報酬	両方
大学	男	59.9%	24.6%	3.8%	11.7%
	女	70.6%	19.3%	3.2%	7.0%
	計	66.1%	21.5%	3.4%	9.0%
短期大学	男	79.2%	15.1%	3.8%	1.9%
	女	84.2%	8.4%	2.6%	4.8%
	計	83.8%	8.9%	2.7%	4.6%
大学院	男	41.6%	37.7%	4.7%	16.0%
	女	56.9%	29.1%	4.0%	10.0%
	計	45.5%	35.5%	4.5%	14.5%

表 23 交通費・報酬の支給に関する学校種別の分布（単位認定別）

学校種別	単位認定	なし	交通費	報酬	両方
大学	あり	72.1%	17.6%	2.1%	8.1%
	なし	60.9%	24.6%	4.6%	9.9%
短期大学	あり	85.9%	7.4%	2.8%	3.8%
	なし	81.0%	10.6%	3.0%	5.4%
大学院	あり	55.3%	28.7%	3.7%	12.3%
	なし	37.5%	39.9%	5.3%	17.2%

表 24 交通費・報酬の支給に関する専門分野別の分布（男女別）

文系・理系	性別	なし	交通費	報酬	両方
文系	男	65.9%	18.9%	3.9%	11.3%
	女	76.1%	13.3%	3.4%	7.2%
	計	72.0%	15.5%	3.6%	8.9%
理系	男	37.8%	41.4%	4.7%	16.0%
	女	54.9%	32.0%	3.0%	10.0%
	計	42.1%	39.1%	4.3%	14.5%
その他	男	66.2%	19.1%	2.9%	11.8%
	女	73.2%	19.2%	3.0%	4.6%
	計	71.5%	19.2%	3.0%	6.3%

表 25 交通費・報酬の支給に関する専門分野別の分布（単位認定別）

文系・理系	単位認定	なし	交通費	報酬	両方
文系	あり	79.3%	13.1%	1.9%	5.8%
	なし	64.6%	17.6%	5.3%	12.5%
理系	あり	49.0%	32.3%	4.1%	14.6%
	なし	36.2%	44.2%	4.7%	15.0%
その他	あり	78.7%	13.1%	2.8%	5.4%
	なし	65.4%	23.6%	3.6%	7.5%

表 26 交通費・報酬の支給に関する学校種別・課程別の分布（男女別）

学校種別	性別	なし	交通費	報酬	両方
大学(昼間)	男	59.9%	24.7%	4.1%	11.4%
	女	70.7%	19.0%	3.2%	7.0%
	計	66.3%	21.3%	3.6%	8.8%
大学(夜間)	男	60.3%	23.5%	0.0%	16.2%
	女	66.0%	26.0%	2.0%	6.0%
	計	62.7%	24.6%	0.8%	11.9%
短期大学(昼間)	男	80.9%	14.9%	4.3%	0.0%
	女	84.8%	8.1%	2.6%	4.5%
	計	84.5%	8.6%	2.8%	4.1%
短期大学(夜間)	男	66.7%	16.7%	0.0%	16.7%
	女	57.1%	21.4%	0.0%	21.4%
	計	60.0%	20.0%	0.0%	20.0%